

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズエール本巢		
○保護者評価実施期間	2025年2月17日	～	2025年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年2月17日	～	2025年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の「やりたい」をできるだけ叶える体制	児童がやりたいと思ったことは、材料ややり方などを提示しながらできるだけ行えるようにし、想像力・創造力や可能性を広げることが出来るようにしている。	児童の「やりたい」を叶えるスキルや情報、経験を全職員が身に着けていく。
2	職員が充実している	十分な職員体制であり、ひとりひとりに寄り添った支援を行うことが出来る。	専門的な資格を持った職員を積極的に採用しており、多くの視点から児童のことは見ることが出来る。
3	保護者との連携や相談のしやすい環境づくり	電話だけではなく、ラインでの気軽な相談や連絡事を受け付けており、より密な関係づくりを行っている。	全職員が話を聞く姿勢を取り、職員間でも情報共有を徹底し、保護者から信頼される事業所にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民(子ども)との関わりや交流など、地域に開けた事業所運営ができていないこと	日々の療育や支援といった「本人支援」に重点を置いている。加えてできるだけ「家族支援」まで範疇としてとらえられているが、「地域支援および地域連携」までは広がっていない。情報収集不足もあり、取り組みが不足している。	地域にある様々な社会資本を活用することを意識していく。
2	保護者さま同士の交流会の開催できていないこと	ご利用いただいている保護者様同士の交流会や意見交換会を定期的にも実施できていない。	ご家族様から交流をしたいというお声があれば、交流会などの場を開催していきたい。
3	事業所運営の透明化	イベント行事や避難訓練、感染対策など事業所からの発信が少なく、保護者様への浸透が低い。	スタッフ紹介など出来る範囲で紹介年間スケジュールを作成し、各種緊急事項関連は定期的に会報として発信していく。





公表

## 保護者等からの放課後デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	キッズエール本巣				公表日	2025年 3月 28日		
					利用児童数	33	回収数	27
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1		2	様々な分野における有資格者のみを配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3		3	活動や支援内容に応じた空間づくりを心掛けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1		1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2			・家でなかなか宿題に取りかかれないのが、こちらでは見えてもらえています。 ・子供のことをよく見てもらっていると感じます。	これからも一人一人の子ども理解を土台とし、個に応じた指導を考えていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1		2	・パソコンを学べるので、色んな可能性に繋がって良いと思う。 ・利用してまだ日が経過していないため。しかしこちらの利用目的など共有して対応していただいている。	支援内容と支援プログラムともに、将来に繋がる生きる力を育むことを意識し、一致した支援を提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	26	1			・子どもの性格や特徴から、課題を考えて示してもらっています。 ・利用してまだ日が経過していないため。しかしこちらの利用目的など共有して対応していただいている。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		2	・利用してまだ日が経過していないため。しかしこちらの利用目的など共有して対応していただいている。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		1	・いつも帰りの送迎の際にどんな事ができるか、課題かをお話して下さりありがたいです。 ・利用してまだ日が経過していないため。しかしこちらの利用目的など共有して対応していただいている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	5		2	・利用してまだ日が経過していないため。しかしこちらの利用目的など共有して対応していただいている。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	5	10	・利用してまだ日が経過していないため。	今後、実施可能な環境が整えば、実施を検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1			・見学の時点で説明してもらえました	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1			・定期的にモニタリングがあります。 ・面談の時に分かりやすく説明してもらいました ・利用してまだ日が経過していないため。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	5	7	・利用してまだ日が経過していないため。しかしこちらの利用目的など共有して対応していただいている。	有用だと思われる研修会や情報があればお伝えさせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26		1		・よく共有してもらっています ・利用してまだ日が経過していないが、ノート、LINEを通じて利用時の様子など共有していただいている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3			・連絡帳やラインで、相談したことのアドバイスがもらえます ・利用してまだ日が経過していないため。しかしこちらの利用目的など共有して対応していただいている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	2			・いろんな声をかけてもらっているようです ・利用してまだ日が経過していないが、子供が楽しく通所しているのでこれから回数を重ねて職員の方との信頼関係を、築いてほしいと思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	8	10	4	・利用してまだ日が経過していないため。	御要望があれば、実施を検討していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	5		3	・相談事にすぐに対応していただいている ・利用してまだ日が経過していないため。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても思います</li> <li>・利用してまだ日が経過していないが、ノート、LINEなどで共有できる環境があるので安心しています。</li> <li>・とても思います</li> </ul>		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用してまだ日が経過していないため。</li> </ul>		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	4	1	6		各研修を実施し、マニュアルを備えています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練があったと聞きました。</li> <li>・利用してまだ日が経過していないため。</li> </ul>	今後、訓練実施の予定や実施した際の周知をさせていただきます。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2			4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用してまだ日が経過していないため。しかしこちらの利用目的など共有して対応していただいている。</li> </ul>	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1			6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなけがでも連絡してもらえる</li> <li>・利用してまだ日が経過していないが、最初の見学時に説明していただいた。</li> </ul>	今後も速やかな連絡対応を心掛け、継続していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな先生がたくさんいるようです。</li> <li>・不安な気持ちや不満な事を聞いたことがないので</li> </ul>		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強嫌いですが、勉強好きになりました。</li> <li>・勉強が嫌いなため。</li> <li>・いつも楽しみにしているようです。</li> </ul>		
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対応もしてくださりありがたいです。</li> <li>・十分にやってもらっています</li> <li>・勉強を教えてもらったりパソコンをやらせてもらえるので選んでよかった。</li> </ul>	

公表

## 放課後デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	キッズエール本巣		公表日	2025 年 3月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・訓練部屋を半分に分け、グループを2つに分けることで訓練部屋のスペースを効果的に使っている。また、運動部屋や学習室があることで児童の活動に応じて支援をする空間が確保できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・児発の先生が手伝えるときは放デイへ入るなど工夫している。 ・送迎が多い時間や職員の休みが多い日は職員間で連携をとり、学習室や訓練部屋に各職員がつけるように工夫できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・部屋の入替え等行い、わかりやすく過ごしやすい空間を作っている。 ・階段の手すり、昇降時に見守りまたは介助。トイレや手洗い場の踏み台設置。	今後、必要に応じて検討、改修をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・定期的に各職員の仕事を振り返り、仕事量や内容の偏り生まれないよう意見を集め、平坦化を図る作業を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・送迎時や連絡帳などに保護者から寄せられた要望に関しては職員間で共有し、対応策を講じて、迅速に要望に添えるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・改善案や心配なことを誰もが伝えやすい、受け止めやすい環境づくりに努めている。一人一人の意見を尊重し、利用者や事業所にとってプラスになることについて業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		外部評価にある意見や要望を受け、業務改善につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・それぞれの業務に沿った研修を受けることができている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・モニタリング時や送迎時に寄せられた保護者の要望や意見を全職員に共有し、どのような計画を立てればよいか、どのような支援が必要かを日頃の様子などを加味して作成することができている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			・特に集団療育として休日の外出イベントに関して、児童の特性や人数に配慮した上で、話し合って決められている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			・定期的に活動プログラム案をみんなで話し合いながら更新している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		・児童が多い平日は特に学習や個別療育だけで時間をとることも多いため、計画的に集団活動を位置づけ、優先して行う日を設定していくことも考えていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			・今日行ったことや、できたこと、できなかったことなどを記録して次回のような支援に繋げていくかを考えることができる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			・モニタリング時に出た意見や要望に合わせて、必ず複数の所属で検討して計画を立てることができている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	1		・自立支援、日常生活の充実、創作活動、余暇の提供という各視点は、バランスを考えながら、利用者の特性に応じて支援を行っている。 ・地域交流の機会の提供があまり行っていないため、機会をとらえてそういった支援も行えるようにしていく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			・多くの場で、自分の意思に基づき、自己決定や選択がなされるよう、活動内容や支援内容を提示している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			・学校から子どもの様子や送迎時間に関わる連絡があった場合には、対応の仕方をすぐに協議するなど、必要に応じて連携を図るようにしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	—	—		（該当する方が、現在までのところおりません）
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		今後、実施可能な環境が整えば、実施を検討していきます。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		今後、実施可能な環境を整え、参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・送迎時や、連絡帳などを用いて事業所での様子を逐一保護者に伝え、保護者から困りごとを聞き取り、支援に繋げていくことができている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		有用だと思われる研修会や情報があれば情報提供させていただきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・相談されたその場で適切な言葉を返せないときは一度持ち帰り、複数職員に相談した上で助言をすることができている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	4		御要望があれば、実施を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・苦情を全職員が認知し、苦情があった点に対して原因と具体的な改善策について複数所属員で協議し改善を図ることができている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	・児童の個人ファイルはもちろん、写真も帰宅する前に全て消してから帰り、持ち帰らないことを徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		運営にゆとりが生まれ、有用性を見込める環境が整えば、実施を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	・防災訓練などは定期的に防災訓練担当職員を交代で担いながら行っている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2		(該当する方が、現在までのところおりません)

公表

## 放課後デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズエール本巢		
○保護者評価実施期間	2025年2月17日	～	2025年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年2月17日	～	2025年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの支援に関わる職員の専門性・人間性 人員配置の充実	・専門性を有する職員(理学療法士・作業療法士・心理士・看護師・保育士・教員免許保有者や児童指導員といった多数の専門職員)が多く在籍し、療育・支援に関わっています。 ・子どもの気持ちを大切に与えること、保護者の支援を意識すること、職員同士のつながりをより良いものにする、三方位にわたる“人”を大切にすのマインドセットを常に意識しています。	・会社と事業所の理念が共有できる方、人間性を重視した採用基準を維持していきます。 ・社内研修の充実を図っていきます。 ・利用していただいている児童や保護者に対して、相手の気持ちを尊重し、相手の立場にたって誠実に対応することを共有していきます。 ・職員同士の関わりにおいて、相互リスペクトを基本に、誰もが主体性を発揮し働きやすい職場環境づくりに努め、療育支援にあたる土台を大切にします。
2	保護者や地域のニーズを考慮した療育・支援の提供 さまざまな学びや生活体験の場の提供	・学習支援、将来に少しでも役立つことを願ってのパソコン学習を位置づけています。同時に様々な活動から自己選択、自己決定をする過程を大切に選択活動の時間も設定しています。各々の子どもが自分の興味関心をもって、得意なことや好きなことを伸ばしていくことで、楽しく過ごしながら、自己肯定感を高め、子ども自身のエンパワメントにつながる支援を心掛けています。	・学習支援を大切にすることで、学校生活の中核をなす勉強への負担やストレスを軽減するとともに、達成感や自己肯定感を獲得する一助としていきます。 ・パソコン学習については幅広く対応していけるよう運営方法の工夫を図っていきます。 ・様々な体験ができる機会を提供するにあたり、地域にある様々な社会資本の活用をさらに考え、試みを考えていきます。
3	保護者への連絡・報告等、お子様の様子を情報提供し共有する体制 保護者の不安や困りごとなどの相談に寄り添う支援体制	・常に保護者の立場、目線に立つことを大切にし、保護者に対して、お子様の一日の生活や活動の様子から得られた気づき、成長を感じる姿や変化、今後の課題や目標などを、様々な方法でお伝えし、共有しています。 ・特に送迎時にその日の様子をお伝えするなど日頃から現場の先生方が御家族とのコミュニケーションを図るようにしています。	・今後も児童発達支援管理責任者と現場の先生方から御家族の話を共有するようにし、現場の先生方からの気づきから児童発達支援管理責任者が現場職員と共に保護者対応に向かう体制を継続していきます。 ・保護者の相談に丁寧に対応していくことができるよう、職員間の質の良いコミュニケーションをしっかりと図りながら、全職員で支援が行えるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など御家族が交流する機会やペアレントトレーニングを行う機会をもうけることができていない。	・ペアレントトレーニングを実施するには、職員の技量や経験、人員増員が必要となる。日々、子どもの療育や支援にマンパワーを要している状況。 ・お子さん一人一人の特性や家庭環境や学校での状況がそれぞれ異なるため、保護者間の交流の場であまり交点が見つかるとは限らない。共働きで時間が取れない御家庭が多いことなどから実施できていない現状がある。	・ペアレントトレーニングができる人材、交流会を準備運営する所員数を確保する。 ・効果的な保護者会ができる手立てを考える。
2	地域住民(子ども)との関わりや交流など、地域に開けた事業所運営ができていない。	・日々の療育や支援といった「本人支援」に重点を置いている。加えてできるだけ「家族支援」まで範疇としてとらえられているが、「地域支援および地域連携」までは広げられていない。情報収集不足もあり、取り組みが不足している。	・地域にある様々な社会資本を活用することを計画に位置付けていく。 ・公園や遊具がある施設だけでなく、学びや体験につながるイベントや地域サークルなどの参加も検討していく。
3	訓練等実施していることの周知・発信不足 保護者の方への非常時等への対応(緊急時・感染症等)に対する周知・発信不足	・防災の取り組みや緊急時の対応は作成しているが、周知機会が不足している。	・SNSやお便り等を通じて、保護者の方へ取り組みを発信していく。 ・防災の取り組みや緊急時の対応に関しては、時期を定めて保護者へ周知していく。